

平成29年度 松江市の財務諸表(一般会計等)

**貸借対照表** 住民サービスを提供するために保有している松江市の土地、建物や現金等の財産(資産)と、その資産をどのような財源(負債・純資産)で賄ってきたかを対照表示したもの

借方(現在有する資産)	貸方(資産の調達財源)
<b>【資産の部】(将来の世代に残る財産の金額)</b>	<b>【負債の部】(将来の世代が負担する金額)</b>
1 有形固定資産 (道路、公園、学校、庁舎等) 3,261億56百万円	1 固定負債 (地方債や将来の職員の退職金等) 1,182億58百万円
2 無形固定資産 (ソフトウェア等) 1億11百万円	2 流動負債 (地方債翌年度償還額、賞与引当金等) 136億10百万円
3 投資等 (基金、貸付金、出資金等) 169億61百万円	<b>負債合計</b> 1,318億68百万円
4 流動資産 (現金預金、財政調整基金、市税未収金等) 75億57百万円	<b>【純資産の部】(これまでの世代が負担した金額)</b>
うち、現金預金 21億39百万円	<b>純資産合計</b> 2,189億17百万円
<b>資産合計</b> 3,507億85百万円	<b>負債・純資産合計</b> 3,507億85百万円

**資金収支計算書**

「一般会計年度における資金の流れ」を行政活動区分別に示したもの

前年度末資金残高 13億58百万円
本年度資金収支額 1億23百万円
1 業務活動収支 (税込、補助金支出、職員給与等) 84億47百万円
2 投資活動収支 (公共資産整備支出、基金積立等) △32億80百万円
3 財務活動収支 (地方債の借入、地方債の償還) △50億44百万円
<b>本年度末資金残高A</b> 14億81百万円
前年度末歳計外現金残高 6億39百万円
本年度歳計外現金増減額 20百万円
<b>本年度歳計外現金残高B</b> 6億59百万円
<b>本年度末現金預金残高(A+B)</b> 21億39百万円

**純資産変動計算書**

貸借対照表の「純資産の変動内容」を示したもの

前年度末純資産残高 2,179億98百万円
当期変動額 9億19百万円
純行政コスト(▲) △804億84百万円
1 財源 (市税、地方交付税、国県補助金等) 806億12百万円
2 その他 (資産評価差額、無償所管換等) 7億91百万円
<b>期末純資産残高</b> 2,189億17百万円

**行政コスト計算書**

1年間の「行政サービスのためのコスト」を示したもの

<b>【経常費用】A</b> 850億82百万円
1 業務費用 (人件費、物件費、その他の業務費用) 420億62百万円
2 移転費用 (補助金等、社会保険給付、他会計繰出等) 430億20百万円
<b>【経常収益】B</b> 46億17百万円
1 使用料及び手数料 24億04百万円
2 その他 22億12百万円
<b>純経常行政コストC(A-B)</b> 804億66百万円
1 臨時損失D 4億38百万円
2 臨時利益E 4億20百万円
<b>純行政コスト(C+D-E)</b> 804億84百万円

**【4表の相互関係】**

- ① 「現金預金」が貸借対照表と資金収支計算書で一致
- ② 「期末純資産残高」が純資産変動計算書と貸借対照表で一致
- ③ 「純行政コスト」が行政コスト計算書と純資産変動計算書で一致

松江市の財政分析

市民1人当たりの資産、負債、行政サービスの提供状況

(平成30年3月31日現在の住民基本台帳人口202,965人に基づき算出)

- 資産 172万8千円 (H28:174万7千円)
- 負債 65万0千円 (H28:67万7千円)
- 行政サービスの提供 39万7千円 (H28:39万8千円)

道路や公園などの社会資本の形成に対する世代間の負担率

- 将来の世代の負担率 35.48% (H28:36.48%)

●公共施設等の減価償却率(資産老朽化率) 58.58% (H28:57.20%)

基礎的財政収支(プライマリーバランス)は自らの財源で運営できているか

- 62億7百万円の黒字 (H28:59億59百万円の黒字)

基礎的財政収支(プライマリーバランス)に関する情報

業務活動収支	84億47百万円
支払利息支出	10億40百万円
投資活動収支	△32億80百万円
<b>基礎的財政収支</b>	<b>62億7百万円</b>

※一般会計等の内訳

【一般会計等】

- ・一般会計
- ・公園墓地事業特別会計